

どうぼう

光明寺同朋の会

～『^{たんにしょう}歎異抄』には何が書かれているの?～

Zoomでの参加も可能! 詳しくは下記参照!

『歎異抄』は、いつの時代も多くの人々に読まれてきました。一体何が、その人々を惹きつけてきたのでしょうか。

『歎異抄』は、親鸞^{ゆいゑん}聖人の著作ではありません。直筆が残っていないのですが、お弟子さんであった唯円という方がまとめられたものであると伝えられています。

『歎異抄』という名前に表されているのですが、唯円さんが、親鸞聖人が関東(茨城)から京都へ帰られたのちに、門弟たちの間で親鸞聖人から教えていただいたことと「異^{こと}」なる了解のあることを「歎^{なげ}」いて書かれたものなのです。

前半第1章から第10章までが師訓篇と言われ、親鸞聖人からお聞きしたことなどを書き留めておられます。後半第11章から第18章までが「異義^{いぎ}(歎異)篇^{たんにへん}」と言われ、私たちも^{おちい}陥りやすい「異義」について批判されています。

ゆっくりと読み進めてまいりたいと思います。ぜひ、ご参加ください。

日時: 2024年1月20日(土曜日) 午後14時～16時30分
※毎月1回、土曜日に開催予定

今後の予定は、2月24日、3月23日です

会場: 光明寺本堂と2階の客間(椅子席です)



日程: 14時 開会(皆さんと一緒に「正信偈」をお勤めします)
14時30分 法話(当寺住職が『歎異抄』や親鸞聖人についてお話しします)
15時30分 茶話会(質問や感想など、話し合いの時間です)
16時10分 仏事ひとくちメモ
16時30分 散会

Zoom: 会議ID: 953 5707 6868 パスコード: 684089 分からない方には説明いたします。

会費: 500円(茶菓代・お寺のみ) ※別途テキスト代金250円

申込み: お寺までご連絡ください。☎03-3644-3043 ✉koumyouji@koumyouji-fukagawa.or.jp

◆三密を避け、消毒・除菌に十分配慮いたしますので、皆さまにはマスクの着用をお願いいたします。お出かけ前には検温し、無理をせずご参加ください。

◆浄土真宗の門徒さんでなくても結構ですので、お誘い合わせのうえ、ご参加ください。